



渡辺 悟



動画配信中

林野火災において自衛隊へりを

躊躇した理由は！



西宮林野火災において、自衛隊へりの出動要請を躊躇したのはなぜか。桐生市では、覚知から50分後には自衛隊へ要請が行われ、4日間で鎮圧したと聞く。

市長

自衛隊へりの災害出動の要請は、県の消防防災航空隊への応援要請、航空消防防災相互応援協定による応援要請、広域航空消防応援要請の三つのステップを経た上で行うルールであるが、第一ステップの時点で要請を行っている。また、県に要請した時点で自衛隊には事務レベルで情報が伝わっている。

◆ワクチン接種の見通し



高齢者への新型コロナウイルスワクチンの接種について、集団接種だけでなく、個別接種を併用することで市民の安心につながるかと考えるがどうか。

市長

ワクチンはマイナス75度での保管や一度希釈すると6時間以内に使い切る必要があるなどデリケートな取扱いが必要なことから、本市においては集団接種を基本に調整している。今後十分な量のワクチンが供給される状況になった段階で、個別接種について医師会と協議していきたい。



中山 富夫



動画配信中

自営業者や小規模事業者への

支援について問う！



新型コロナウイルス感染症の影響により、自営業者や小規模事業者が休業や廃業に追い込まれているが、今後どのような指導や支援策を講じていくのか。

市長

同感染症対応のための補正予算と令和3年度当初予算を一体的に運用することで、雇用維持や売上減少、資金繰りに対する支援を行うとともに、商工会議所や金融機関等と連携して市内経済の実態を把握し、的確な支援につなげていきたい。

◆インターネットによる誹謗中傷等への対策



SNSの普及に伴い、インターネット上での誹謗中傷等の被害が拡大している。インターネット社会に対応する子どもたちの環境も変化していると考えますが、所見を聞きたい。

教育長

インターネット社会に生きる子どもたちが直面する問題は、学校だけでなく家庭、地域も共に考えるべき社会全体の問題と捉えている。現在各学校では足利市情報教育指導計画を基に指導するほか、インターネット上のいじめは外部に見えにくいという共通認識の下、多くの教職員の目で子どもの変化を把握するよう努めている。



富永 悦子



動画配信中

新型コロナウイルスワクチン接種の

円滑な実施について問う！



高齢者へのワクチン接種を短期間で効率的に実施するため、ワクチン接種に関するスケジュールや接種体制の準備をどのように進めていくのか。

市長

ワクチンは集団接種を基本に、土曜日、日曜日、祝日を含めて週6日、午後と夜間の時間帯に実施する方向で準備しており、実地演習で見えた課題を踏まえて行っていく。高齢者への接種は4月上旬の開始を想定していたが、現時点で供給時期が不透明なため、状況に応じて最適な接種体制を確保し、柔軟に対応していきたい。

◆自転車保険の義務化



コロナ禍での新しい生活様式を踏まえ、自転車利用者の増加が見込まれるが、本市の自転車関連事故の状況と自転車保険の義務化について考えを聞きたい。

生活環境部長

令和元年中に発生した人身事故のうち、自転車に関連する事故は全体の約2割であり、その半数が高齢者であった。自転車保険については、県において条例による義務化が検討されているため、県や他市町の動向を確認しながら研究していきたい。